

# 弥生世界 しずおかの

ふじのくに文化財交流展

この夏、山梨県と静岡県では、両県をさらに盛り上げていくことを目的とした「バイ・ふじのくに文化財交流事業」の一環として、文化財の交換展示会を行いました。山梨会場となった当館では、「しずおかの弥生世界」と題し、稲作に適した平野と東海道ルートを背景として栄えた静岡の弥生時代の出土品を紹介。とりわけ、山梨県では出土例のない本物の銅鐸は本展の目玉展示となりました。



開会のテープカット

7/17

8/22



銅鐸  
到来

【テープカット：左から】山梨県観光文化部長 / 当館館長 / 静岡県スポーツ・文化観光部長

会期中には静岡県の職員によるワークショップやギャラリートークを随時開催するとともに、静岡大学教授である篠原和夫氏による講演会を実施し、弥生時代についてあらためて理解を深めるきっかけとなりました。



## 担当学芸員 S のつぶやき ~企画展を終えて~

【右画像】静岡県指定文化財 銅鐸 西の谷遺跡（静岡県埋蔵文化財センター所蔵）

7月17日から8月22日にかけて夏季企画展を行いました。今回はふじのくに文化財交流展として「しずおかの弥生世界」というタイトルで、静岡県の弥生時代の遺物を展示する形となりました。おそらくは当館企画展史上初めて、全ての展示品を外部から持ってきました。自分の知らない資料を並べていくのは、雰囲気は掴めず土器土器（ドキドキ）です。



土器ドキの展示風景

今回の展示を見た方から多く聞かれたのは、「弥生って地味じゃない」「弥生土器はオシャレ」という、予想よりもずっとステキといった評価でした。そもそも弥生土器（時代）が地味に思われているのは、学校で歴史の教科書に書かれている「縄文土器は縄目の文様が入っていて、弥生土器は無文」という呪いのような思い込みが原因なのですが…

展示した静岡の弥生土器は都会的な雰囲気（？）を持ち、プリミティブな山梨の縄文土器とは異なった魅力を持っていました。縄文土器にはない洗練された美は、一種のアート作品のようです。いや、土器だけでなく銅鐸や豊富な木製品など、まさに異なった文化との遭遇と言えます。今回の企画展は、普段見えないものに触れるという、ある意味、博物館の醍醐味を体現したような展示でした。



意外と重い

静岡県職員による銅鐸の展示

9月30日からは、第38回特別展が開催されます。タイトルは「甲府城のすべて—石垣と瓦の考古学—」です。史跡甲府城の魅力を、各地の資料を踏まえて展示していきます。次なる異文化との遭遇にご期待下さい。

【文：山梨県立考古博物館 学芸員 柴田亮平】

**昨** 年度は感染症予防のため中止・縮小するイベントが多くなりましたが、今年度はさまざまな対策を講じることで、有人イベントを少しずつ復活させてきました。5月3日・4日の第32回『風土記の丘こどもまつり』では、外部ゲストを迎えてのライブや動物とのふれあい体験などは避け、比較的道具の消毒が容易な体験イベントに絞ることで、2日間を無事に終えることができました。

5/3 5/4

風土記の丘こどもまつり



しゅりょうたいけん  
**狩猟体験!**

木陰の狩猟場でエモノをねらう体験型イベント

7/3 ▶▶ 8/14

風土記の丘で七夕飾り



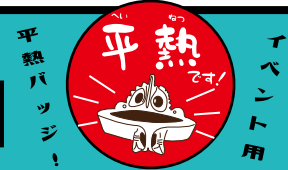
大きな竹に願いごとの短冊を飾る



ドライビング王!  
おおきみ

こどもまつりに現れた働き者の王(おおきみ)。

# 開催 EVENT REPORT 報告



**今** 年度は、風土記の丘研修センターでの七夕関連イベントや各種ものづくり体験など、できる限り例年に近い形でのイベント開催をしていくことで、利用者に満足していただける環境作りに努めています。



縄文風陶器作り



青銅鏡作り



トンボ玉作り

## 上半期ものづくり【原始・古代の技に学ぶ】



縄文時代のかごづくり



下半期も引き続き安全面に配慮しつつ、さまざまなイベントを催行していく予定です。詳細は当館の公式ホームページやSNSにて随時発信していきますので、ぜひそちらからも最新情報のチェックをお願いします!

## 上半期ものづくり【チャレンジ博物館】



# ものづくり

原始・古代の



縄文土器野焼きの様子

**風** 土記の丘研修センターでは、年間を通じてさまざまなものづくり教室を開催しています。教室には16歳以上の一般の方を対象とした「原始古代の技に学ぶ」と、小中学生を対象とした「チャレンジ博物館」とがあり、講師の指導のもと、土器や土偶、青銅器の製作をはじめとした、原始・古代にちなんだ多種多様なものづくりに挑戦することができます。

昨年度からは感染症対策にも力を入れており、会場や道具類のこまめな消毒、フェイスガード・マスク着用の徹底、1回あたりの催行人数を減らす代わりに回数を増やし、人員の密を避けるといった工夫を重ね、参加

される方々と職員の安全をはかりながらイベントに取り組んでいます。また、こうした年間予定で決められた教室のほかに、少人数での申し込みも随時受け付けており、古代の火起こしや勾玉作り、青銅鏡作りなどの体験に個人グループでご参加いただけます【要予約・日程は応相談】。ぜひ当施設ならではのアクティビティをお楽しみください。

## 風土記の丘 研修センター

TEL055-266-5286



縄文土器作りの様子



青銅器の鋳込み作業

下半期（10月～3月）  
ものづくりの予定は次ページ

### 少人数【家族】向け体験 MENU

1人3コまで

#### 参加費無料 古代の火起こし



対象：小学生以上  
〔未就学児は応相談〕

時間：40分程度  
※小学3年生以下は要保護者同伴

#### 1コ200円～ 勾玉作り体験



対象：小学生以上  
〔未就学児は応相談〕

時間：90分程度  
※小学3年生以下は要保護者同伴

#### 1コ500円 トンボ玉作り体験



対象：小学生以上  
時間：60分程度  
〔人数・個数により変動〕

※小学3年生以下は要保護者同伴

#### 1枚5000円～ 青銅鏡作り体験 [12月～3月は体験休止]



対象：小学校5年生以上  
時間：約5～6時間  
〔10時～16時頃 ※昼食時間含む〕  
※小・中学生は要保護者同伴

製作する鏡の種類は  
ホームページでご確認  
ください。

ホームページ



- 1 体験希望日の1週間以上前に風土記の丘研修センターへご予約ください〔青銅鏡のみ1か月前まで〕。
- 2 体験は考古博物館を見学された方に限らせていただきます。
- 3 すべての体験は1名から対応します〔年齢による〕。

# Next Schedule

10月  
▼  
3月

原始古代の技に学ぶ

10/23 (土) 第6回 干支の土鈴・泥塔作り

12/4 (土) 第7回 土器ドキクッキー作り  
【個人・親子での参加可能】

12/18 (土) 1/8 (土) 1/9 (日) 1/30 (日)  
第8回 縄文土器作り【4回連続講座】

原始古代の技に学ぶ：16歳以上の一般の方が対象

チャレンジ博物館：小・中学生が対象

2022年▶▶

2/11 (金) 祝 2/12 (土)  
第9回 青銅鏡形チョコレート作り  
【個人・親子での参加可能】



3/12 (土) 第10回 子持ち勾玉作り

チャレンジ博物館

10/3 (日) \_\_\_\_\_  
弥生時代の石包丁づくり

11/14 (日) \_\_\_\_\_  
木の実で縄文ペンダントづくり

12/5 (日) \_\_\_\_\_  
縄文と干支「寅」の土鈴づくり

1/16 (日) 1/30 (日) \_\_\_\_\_  
縄文土器づくり【2回連続講座】

2/13 (日) \_\_\_\_\_  
青銅鏡風ミニチュア鏡の  
キーホルダーづくり

3/6 (日) \_\_\_\_\_  
縄文時代の石製耳飾り  
ペンダントづくり



- 開催日の1か月前から申し込みの受付を開始します。
- 希望者が多いイベントは抽選になります。

# Next Exhibition

観覧無料

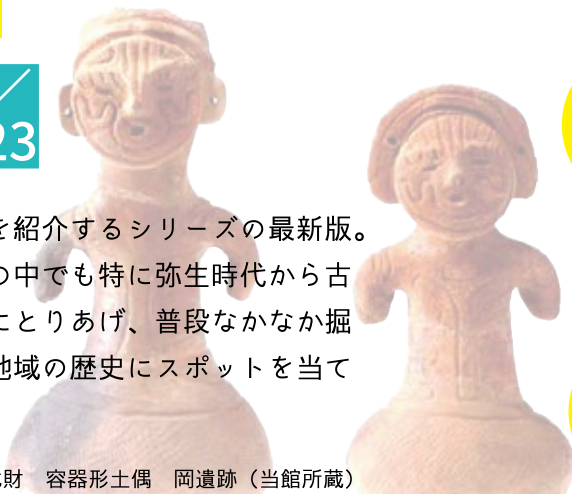
冬季企画展 企画展示室

笛吹市の出土品 II

12/11 ▶▶ 1/23

地域の文化財の魅力を紹介するシリーズの最新版。今回は笛吹市の遺跡の中でも特に弥生時代から古墳時代の遺物を中心にとりあげ、普段なかなか掘り下げる機会のない地域の歴史にスポットを当てて紹介します。

【背景画像】山梨県指定文化財 容器形土偶 岡遺跡（当館所蔵）



新年干支展  
「寅ーとらー」 1/2 ▶▶ 1/30  
エントランスホール

富士山  
ミニ展示 2/5 ▶▶ 2/27  
エントランスホール

第19回「わたしたちの研究室」  
研究成果展示会

企画展示室 2/12 ▶▶ 3/6

風土記の丘  
望見展 2/26 ▶▶ 4/3  
風土記の丘研修センター

# 展示室

臨時休館のお知らせ

# ビフォー→アフター

## 展示室ビフォーアフターするための臨時休館

会期前休館：9月25日(土)～29日(水)

会期後休館：11月25日(木)～28日(日)

毎年秋に特別展を開催している当館。「特別展用の展示室」というものがない当館では、普段常設展を行っている部屋から遺物のほとんどを取り出して移動し、一度展示ケースを空っぽにするという作業が必要になります(そして会期終了後にはまた元に戻すという…)。毎シーズンこれを繰り返すのはなかなか手間ではありますが、まささらな展示ケースを前にすると、見慣れた遺物でも新鮮な気持ちで一から展示を作っていくことができる気がします。今秋も「甲府城のすべて」をみなさんに見ていただくため、左記の日程で劇的にビフォーアフターする予定ですので、来館を予定されている方はご注意ください。



BEFORE

なんということでしょう!



AFTER



BEFORE

カラッポ!



AFTER

動かすときは慎重に…!



土器が  
なくなっちゃった!

## 考古博物館・風土記の丘研修センター利用のご案内

山梨県立考古博物館 TEL 055-266-3881 FAX 055-266-3882

開館時間 午前9時から午後5時まで  
ただし入館は午後4時30分まで

休館日 毎週月曜日(祝祭日の場合はその翌日)  
祝・祭日の翌日(土・日・祝を除く)  
年末年始(12月29日～1月1日)  
※特別展の準備・撤去作業のため9月25日(土)～29日(水)、  
11月25日(木)～28日(日)は臨時休館いたします。  
また、館内整備のため、2022年1月11日(火)～17日(月)  
も休館いたします。

観覧料 一般・大学生220(170)円 ※()は20名以上の団体料金

◇次の場合観覧料が免除になります  
65歳以上の方 ※要証明書(ただし特別展は県内在住の方のみ)  
障がい者手帳をお持ちの方と付き添いの方1名  
小・中・高校生  
山梨県民の日(11月20日)

★ミュージアム甲斐 in 券【4館共通定期観覧券(年間パスポート券)】  
一般5,240円 大学生2,620円  
※当館・県立博物館・県立美術館・県立文学館の4館で1年間有効。

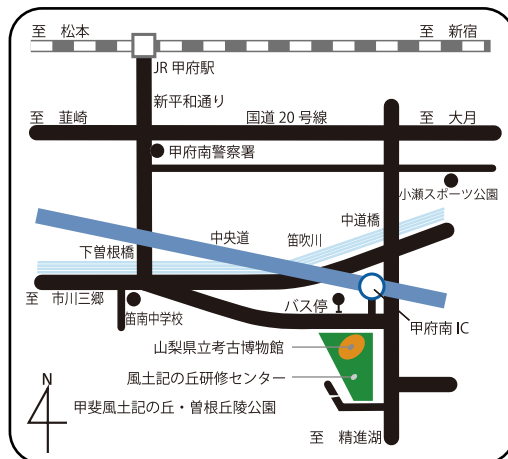
アクセス 路線バスの利用  
◇JR甲府駅より豊富行(中道橋経由)～「県立考古博物館」下車  
◇JR甲府駅より市立甲府病院行～市立甲府病院で下車・乗り換え  
富士急平和観光バス古閑町行～「風土記の丘農産物直売所」下車  
自家用車の利用  
◇中央自動車道甲府南ICより1分(インター正面)

発行日 令和3年8月27日  
発行 山梨県立考古博物館  
住所 〒400-1508 山梨県甲府市下曽根町923  
電話 055-266-3881  
印刷 株式会社 峡南堂印刷所

風土記の丘研修センター TEL 055-266-5286 FAX 055-266-5287

開館時間 午前8時30分から午後5時まで  
休館日 毎週月曜日(祝祭日の場合は翌日) 祝・祭日の翌日(土・日・祝を除く)  
年末年始(12月29日～1月3日)

学校(団体)の利用について  
◇教育課程(小・中学校、高等学校、特別支援学校)で入館される場合は事前に見学の申し込みをお願いいたします。  
◇見学時間を十分にとり、ゆっくりと見学できるようにしてください。  
◇できるだけ下見をし、担当職員と打ち合わせをしてください。  
◇学校見学の申し込みと問い合わせ先: 風土記の丘研修センター



今号では令和3年度上半期の開催報告と下半期の予定をお知らせしています。依然、感染症の動向については予断を許さない状況が続いていますが、さまざまな対策を講じながら、昨年度には出来なかったイベントを少しずつ復活させている現状です。特に昨秋中止となってしまった第38回特別展「甲府城のすべて」を、今秋こそは無事開催できるよう、引き続き気を引き締めて各種感染症予防、準備に取り組んでいく所存です(あ)。